

信州環境ECOコンテスト

Spiral Stage Park スパイラルステージパーク

【Concept】

公園で遊具が泣いている。椅子にこしかける人々は皆、背を向けている。本来コミュニケーションの場であるはずの公園が、まるで何か(それ)を恐れているかのように見える。

児童文学作家 ミハエル エンテは信州にもゆかりのある作家だ。彼の代表作『モモ』の中に印象的なシーンがある。円形競技場の廃墟に住み着いた身よりのない少女モモ。モモがそこにいるだけで遊びがおもしろくなるので子供達はこぞって円形競技場に集まるようになった。だがある時から集まってくる子供の中にうまく遊べない子供が交ざるようになってきた。大人達が子供に完全なるおもちゃを与えたのだ。

想像にとって必要なのは、場所と、そこにいる登場人物ではないだろうか(むしろ完全すぎる公園は考える余地がないのではないか)。公園に滑り台は必要だろうか。ブランコは必要だろうか。

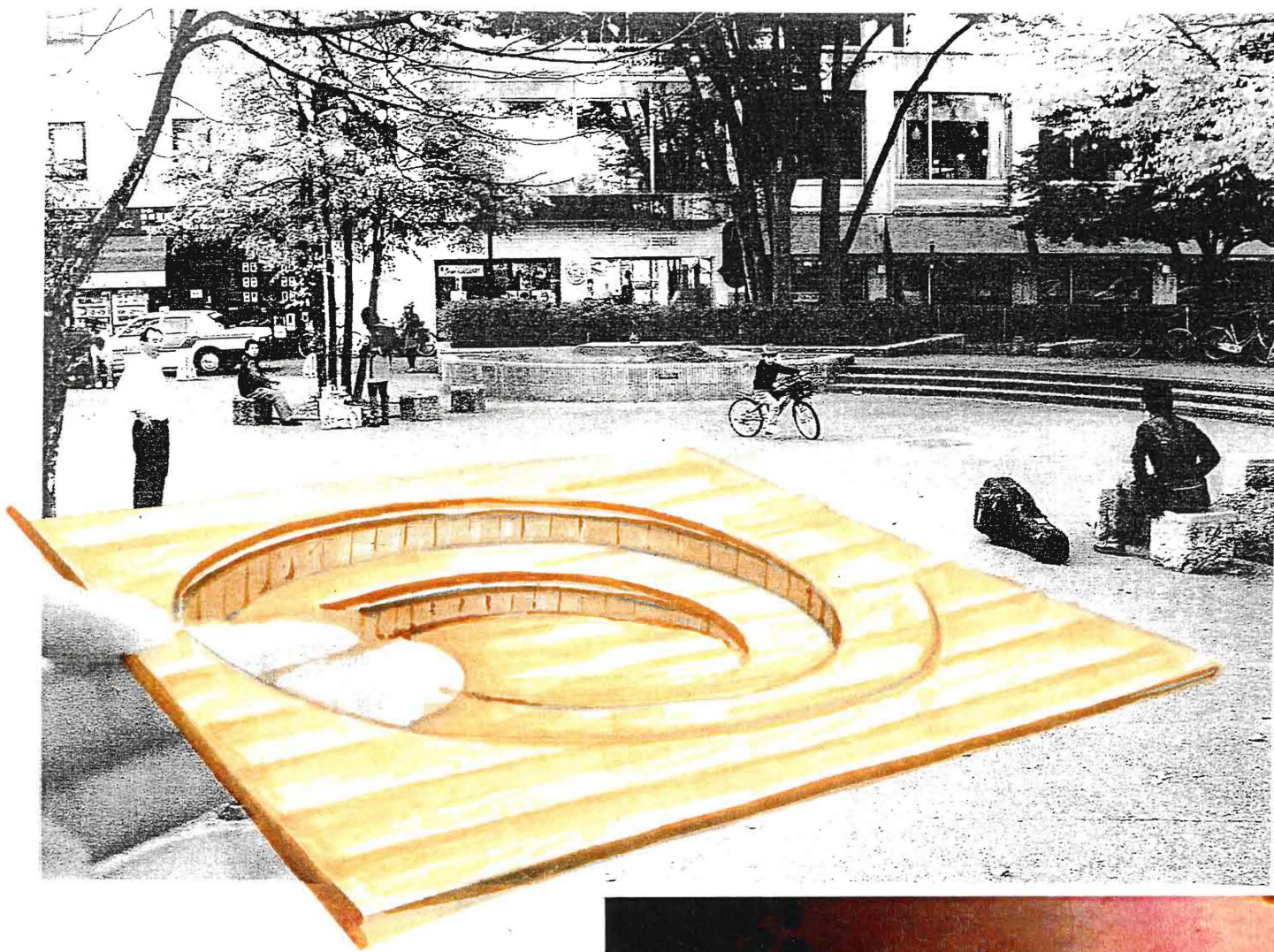
打ち紙にハサミを入れればからこの形を発見した時、ただ一枚の平面から、溢れ出す立体的な可能性を感じた。(つまりこのスパイラルステージパークは完全でないから想像することができる)

まず向かい合おう。

向かい合ったら、地域の未来を想像してみよう。地球の未来を想像しよう。

今、未来に必要なものは何だろう。

集まる一人一人のエネルギーが、いつかこのスパイラルのように渦巻くエコエネルギーとなって、世界へと広がればいい。



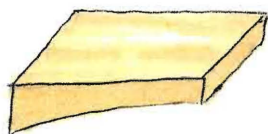
場所: 土地があればどこでも可
 対象者: 長野県各地域のみなさん
 ・プロ・アマ問わず 芸術文化活動に参加したい方
 ・自家栽培の農作物を売りたい方
 ・フリーマーケット
 ・各地域催しもの... など何でも可
 期待できる効果:

- 地域のコミュニケーションの場となること (活用法は各地域ごと話し合おう)
- スパイラルによって
 - 視線が集まる
 - バリアフリー
- 視界が広いことによる治安向上
- 環境問題(ECO)について、各地域話し合いの場となること

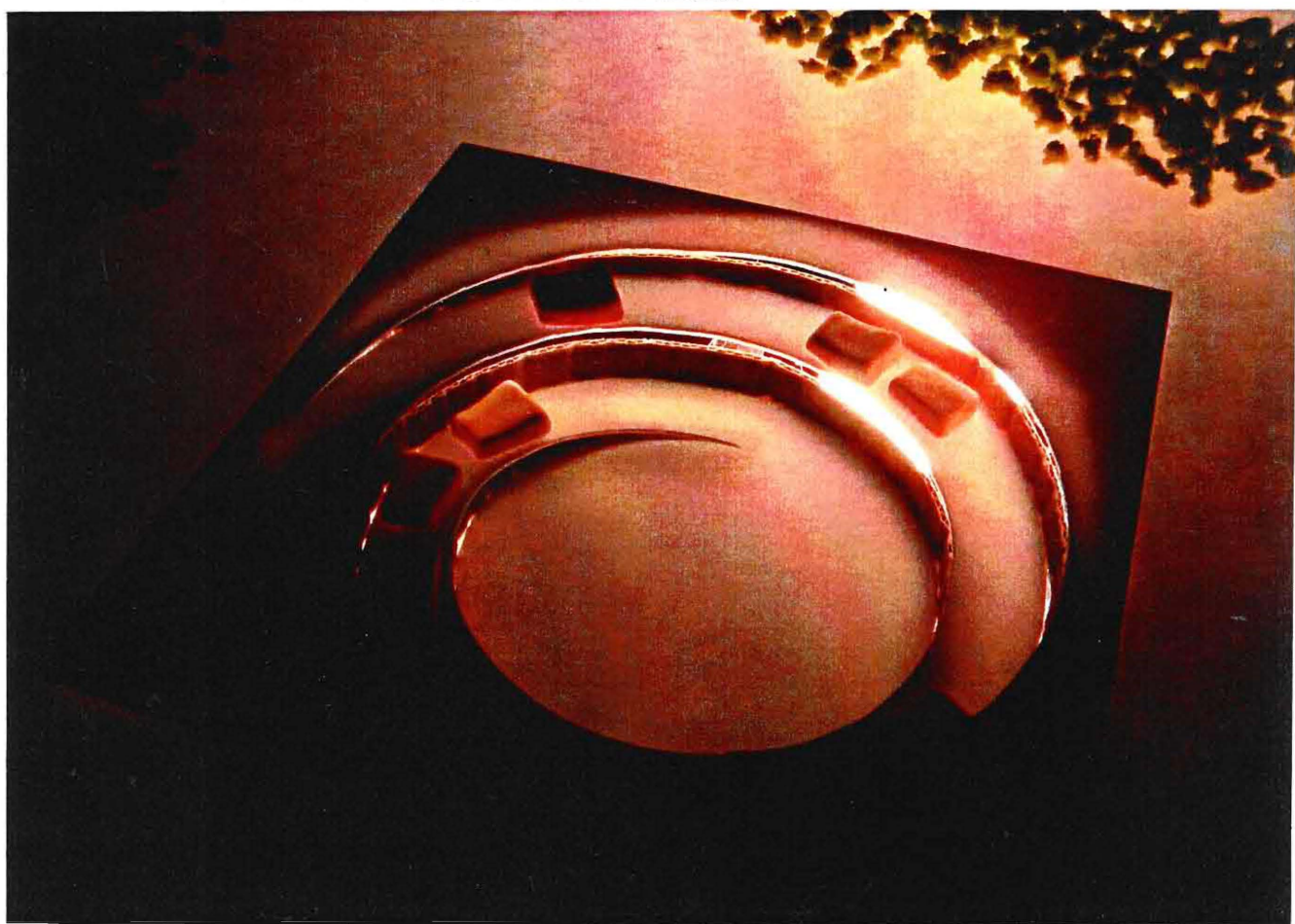
- 長野県産ヒノキ使用
- 内部にLED照明 + 蓄熱断層

足元からの暖かい光と温風。
 ソーラーパネル等の設置は地域で話し合い既存の建築物の屋根を使うなど工夫。

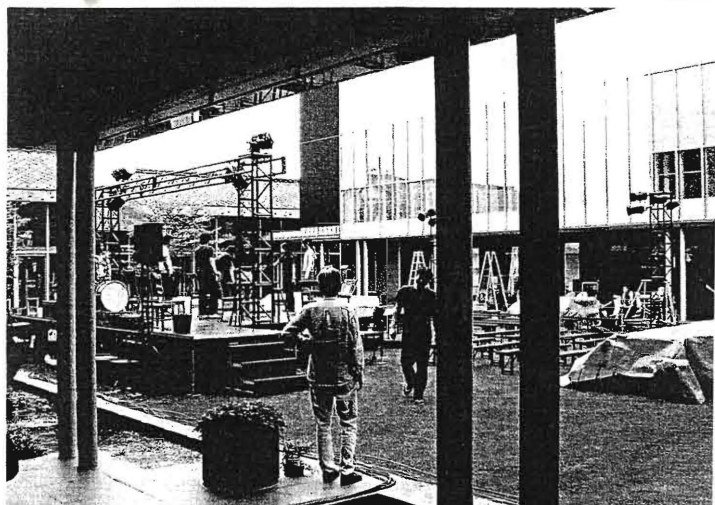
- 排水はスパイラルの最下部より
- 可動式ヒノキの置きイス



スパイラル公園の傾斜の解消のため。好きな位置に置ける。香り良。舞台美術で使われる"箱馬"からの連想

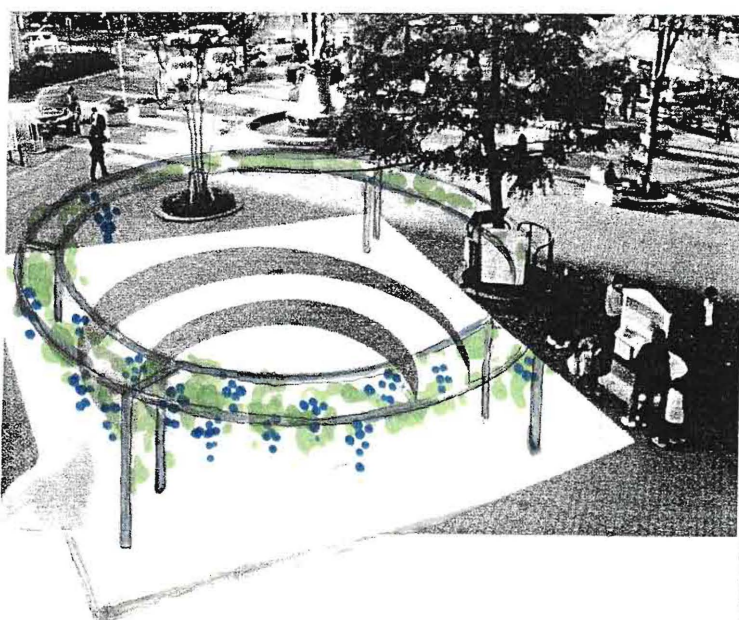


各地域でのスパイラルステージパーク発展例



松本の野外演劇の例

- 野外演劇"クリーム・クリーム・クリーム"
- 入場料 ¥500
- (ホールを利用すると ¥2,000)
- 気楽に見て気づいてもらうことによる芸術活動への関心の向上を期待



塩尻のぶどう棚のたごしの例

- 塩尻の地質の有効活用(炭を含む土)
- 円形のパーゴラにより、つるののびる習性も解決
- 地域の人と学生等が協力



▲総監督: 小澤征爾
 サトウキチンオケストラ出張コンサート(無料)



各地域、特産物などの販売